

論文題目：“粘性土改良体を用いた地下構造物耐震補強の
効果に関する水平載荷試験による検討”

著者：浦野和彦，足立有史，西村毅，河邑眞

掲載：Vol. 58A, pp. 959-966, 2012年3月

◆討議 [紺野克昭（芝浦工業大学）]

改良体と構造物の境界はどのように設定されているのでし
ょうか？

◆回答：改良体と構造物の境界部にジョイント要素は配置
しておらず，境界部の剥離や滑りなどを特に考慮しており
ません．実験においても境界部に顕著な剥離や滑りは見ら
れず，境界部の挙動については境界部周辺要素の損傷によ
る剛性低下を考慮することにより，ある程度再現できてい
ると考えております．

◆討議 [香月智（防衛大学校）]

この実験に用いた改良体の粘性土材料の粒径などの条件
は，現地地盤等の条件に対してどのように設定されている
のでしょうか？

◆回答：今回の実験に使用した改良体は，一般的な軟弱な
粘性土の固化改良体を想定しており，改良体の破壊に重要
と考えられる，現地地盤における改良体の圧縮及び引張強
度を着目点としました．そのため，現地地盤における粘性
土の粒径などについては特に考慮して実験における改良体
の設定は行っておりませんが，今後の研究では粒径の影響
なども検討していきたいと考えております．